海軍學校規則

船具
蒸氣

一午前　大小砲手前　午後　測量
砲術
算術
造船

但隔週日曜日より午前學科者午後に操替午後學科は午前に操替候事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一稽古刻限之儀は四月朔日より八月晦日迄者午前九時より十一時迄午後二時より四時迄
九月朔日より三月晦日迄者午前十時より十二時迄午後一時より三時迄
稽古有之候事

一日曜日稽古休之事

一水曜日品川沖御船に於て算術之外諸學科實地稽古有之候事

一前同斷之節御場所より出船之儀は當朝第五時に候間其節不遲樣出局可致事

但本文刻限之間に不合者待合候事

一大砲玉入稽古之儀ハ三月一度九月一度有之候事

但日限之儀は教授掛より三日前達し有之候事

一丁の月一度小銃火入稽古有之候事

但閏月は除之日限の儀は前同斷

一半の月一度小銃角打稽古有之候事

但前同斷

一正月八日誓古始總出局海軍歴史講議有之候事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

但朝八時揃服紗小袖麻上下着用之事

一同日海軍總裁初役々總而出席之事

一同九日より諸學科稽古日々有之候事

但本日日曜日に候はゝ翌十日より稽古有之候事

一四月十七日御誕生日五節句七月十三日より同十五日迄年々稽古休之事

一諸學科共毎月一度つゝ吟味有之候内春秋兩度等級操上々吟味之事

一十二月廿三日稽古收之事

但常服之事

一誓古人え燒印有之候姓名木札二枚宛相渡し候間出席致し候得は一枚は記錄所え差出し一枚は銘々自分の机上え差置可申事

但木札持參不致者は本日稽古不相成候事

一學校に於て雜讀致間敷候事

一稽古人の儀會食所の外烟草堅無用之事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一誓古人の儀は誓古始り候刻限より五分早に教授所
え出席可致且稽古始り候刻限より五分後れ記錄所
え罷出候者は其日稽古不相成候事
一稽古中病氣又は差掛り候用向等に而退參致し候節
は其段記錄所え相屆可申事
一海軍所に於て稽古相願候者當主之者に候へは直に
海軍奉行並え相願聞屆之上罷出可申尤次三男厄介
の者は其當主より相願聞屆之上當主差添罷出可申

事
但當人正服之事
一御直參の外入學相願候者は其主人々より海軍奉行
並え相願聞屆之上萬石以上は留守居萬石以下は用
人差添學校え可罷出事
但當人は正服之事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

海軍學校教授書目錄

初級　八

船具運用書

二級

砲術書

三級

測量書

四級

船具運用書後編　砲術書後編

測量書後編

五級　三等被　仰付　九

海上兵法

海軍規則書

海軍歴史

一初級之吟味相濟候者は軍艦役並勤方

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

候事

一前同斷之者二級之吟味相濟候得は前同斷二等被
仰付候事

一前同斷之者三級之吟味相濟候得は前同斷一等被
仰付候事

一前同斷之者四級之吟味相濟候得は軍艦役並被　仰
付候事

一前同斷之者五級之諸部吟味相濟候得は軍艦役被

仰付候事

一軍艦役より昇進の儀は業前と人物とを參考致し軍
艦頭同並に而人撰之上可申立候事

一軍艦頭並より以上昇進の儀は軍功と勤功とに寄り
海軍總裁撰擧可致事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

機械書　初編

二級　同　二編

三級　同　三編

四級　同　四編

五級

同　五編

一初級之吟味相濟候者は軍艦役並勤方三等被　仰付候事

一前同斷之者二級之吟味相濟候得は二等被　仰付候事

一前同斷之者三級之吟味相濟候得は一等被　仰付候事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一前同斷之者四級之吟味相濟候得は軍艦役並被　仰付候事

一前同斷之者五級之吟味相濟候得は軍艦役被　仰付候上海軍機械製造所掛又は學校教授掛被　仰付候事

一軍艦役より昇進の儀は業前と人物とを參考致し軍艦頭同並に而人撰之上可申立候事

一軍艦頭並より以上は業前と勤功とに寄り海軍總裁撰擧可致事

造船學教授書目錄

初級　造船書　初編

二級　同　二編

三級

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

同　三編
四級　同　四編
五級　同　五編

一初級之吟味相濟候者は軍艦役並勤方三等被　仰付候事

一前同斷之者二級之吟味相濟候得は二等被　仰付候事

一前同斷之者三級之吟味相濟候得は一等被　仰付候事

一前同斷之者四級之吟味相濟候得は軍艦役並被　仰付候事

一前同斷之者五級之吟味相濟候得は軍艦役被　仰付候上軍艦製造掛り又は學校教授掛り被　仰付候事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一造船學の儀は追々横須賀表製鐵所に於て實地稽古被　仰付候義有之候事

一軍艦役より昇進の儀は業前と人物とを參考致し軍艦頭同並に而人撰之上可申立候事

一軍艦頭並より以上昇進の儀は軍功と勤功とに寄り海軍總裁撰擧可致事

海軍奉行以下役々資級順席其外大概

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

若年寄
海軍奉行

一高
外國航海御手當一日金拾兩宛
御國地航海御手當一日金五兩宛
相摸國城ヶ島より内海は航海御手當一日金貳兩
二分つゝ
諸掛り之儀は御手當筋無之候事

老中支配諸大夫場
海軍奉行並

一高五千石
前同斷一日金八兩宛

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

前同斷一日金四兩宛
前同斷一日金貳兩宛
前同斷

一高三千石　前同斷
前同斷一日金七兩つゝ
前同斷一日金三兩貳分つゝ
前同斷一日金壹兩三分つゝ
前同斷

一海軍奉行同並軍艦奉行は毎週日曜日海軍總裁宅に

而會議の事
但正月稽古始の日より初而之日曜日を會議始と
相定候事

一日曜日之外一ヶ月一度初旬之内品川沖御船々見廻
の事

一日曜日之外一ヶ月一度下旬の内海軍學校見廻の事

一壹ヶ年貳度春秋諸學科吟味之節出席の事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一高貳千石　　前同斷
外國航海御手當一日金六兩つゝ　軍艦頭
御國地航海御手當一日金三兩つゝ
相摸國城ヶ島より內海は航海御手當一日金壹兩
貳分つゝ
品川沖御船當番之節御手當一日金三分つゝ
諸掛りの義は御手當筋無之候事
老中支配布衣
一高千石　　軍艦頭並

前同斷一日金五兩つゝ
前同斷一日金貳兩貳分つゝ
前同斷一日金壹兩壹分つゝ
前同斷一日金貳分貳朱つゝ
御入用掛り幷敎授掛りは壹ヶ年金百五拾兩の積
り勤日數日割外諸掛りの義は御手當筋無之候事
一軍艦頭同並は新參の者え御船々の內爲受持古參の
者え敎授掛爲受持古參の者へ御場所御入用掛或は
諸掛り爲受持候事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

但會議の上新古に不拘義も可有之候事

一乘組船將被　仰付候はゝ其日より三十日の間に船中當番割幷諸ロル無相違取調置會議の節差出し衆評の上相定め可申事

一御船出港幷入港の節は船將自分號令可致事

一軍艦頭同並は毎週日曜日總裁宅に而會議の節不殘出席可致事

一御船請持の軍艦頭同並は毎週土曜日品川沖御船々乘組交代の節船中一等士官と代り合當番可致事

但會議の節可議事件有之時は一等士官と交代の上出席可致或は名代として一等士官差出し可申事

一教授掛り軍艦頭同並は誓古休日の外海軍學校日勤の事

一御船々請持幷教授掛りの外御場所御入用掛其外諸掛り請持の者は御殿或は海軍所へ日勤の事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一御船請持軍艦頭同並は上陸中は御用の外出勤に不及候事

一御船々請持の外軍艦頭同並の内に而一人海軍所詰住居可被仰付候事

一春秋吟味の節教授掛軍艦頭同並は勿論御船々請持幷御場所御入用掛其外諸掛軍艦頭同並とも可成丈出席の事

軍艦頭支配

軍艦役

一高四百俵

外御役扶持拾五人扶持

外國航海御手當一日金貳兩つゝ

但船將代りの節は一日金三兩つゝ船將次官の節は一日金貳兩貳分つゝ

御國地航海御手當一日金壹兩つゝ

但船將代りの節は一日金壹兩貳分つゝ船將次官の節は一日金壹兩壹分つゝ

相撲國城ヶ島より内海は航海御手當一日金貳分つゝ

但船將代りの節は一日金三分つゝ船將次官の節は一日金貳分貳朱つゝ

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

品川沖御船々碇泊中御手當一日金壹分つゝ
但船將代りの節は一日金壹分貳朱つゝ
船將次官の節は一日金壹分壹朱つゝ
教授幷御入用掛りの者は一ヶ月御手當金三兩
三分勤日數日割
御場所諸掛りの者は一ヶ月御手當金壹兩貳分
勤日數日割

前同斷

軍艦役並

一高三百石
外御役扶持拾三人扶持
前同斷一日金壹兩貳分つゝ

但前同斷一日金貳兩つゝ
前同斷一日金壹兩三分つゝ
前同斷一日金三分つゝ
但前同斷一日金壹兩つゝ
前同斷一日金三分貳朱つゝ
前同斷一日金壹分貳朱つゝ
但前同斷一日金貳分つゝ
前同斷一日金壹分三朱つゝ
前同斷一日銀拾三匁つゝ
但前同斷一日金壹分壹朱つゝ
前同斷一日金壹分つゝ
前同斷一ヶ月御手當金三兩壹分勤日數日割
前同斷一ヶ月御手當金壹兩勤日數日割

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一高席不同　　同　軍艦役並勤方一等　三十

外御役扶持拾人扶持
前同斷一日金壹兩壹分つゝ
但船將次官の節は一日金壹兩壹分貳朱つゝ
前同斷一日金貳分つゝ
前同斷貳分貳朱つゝ
前同斷一日金壹分壹朱つゝ
前同斷壹分壹朱と銀壹匁五分つゝ
前同斷一日銀拾壹匁つゝ
前同斷銀拾三匁つゝ
前同斷一ヶ月御手當金貳兩三分勤日數日割
前同斷一ヶ月金三分勤日數日割

一ヶ年　　同　出役
一御手當金拾兩　　同　出役
出役扶持拾人扶持
外國行御手當其外總而前同斷

一高席不同　　同　軍艦役並勤方二等　三十一

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

外御役扶持七人扶持

前同斷一日金壹兩つゝ　三十二

但前同斷一日金壹兩貳朱つゝ

前同斷一日金壹分貳朱つゝ

但前同斷一日金壹分三朱つゝ

前同斷一日金壹分つゝ

但前同斷一日金壹分と銀壹匁五分つゝ

前同斷一日銀九匁つゝ

但前同斷一日銀拾壹匁つゝ

前同斷一ヶ月金貳兩壹分勤日數割

前同斷一ヶ月金貳分貳朱勤日數割

一ヶ年　同　三十三

一御手當金拾兩　同

外出役扶持七人扶持　出役

外國行御手當金其外總而前同斷　同

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一高席不同　　軍艦役並勤方三等　三十四

外御役扶持五人扶持

前同斷一日金三分つゝ

但前同斷一日金三分貳朱つゝ

前同斷一日金壹分つゝ

但前同斷一日金壹分壹朱つゝ

前同斷一日金三朱つゝ

但前同斷一日銀拾貳匁七分五厘つゝ

前同斷一日銀七匁五分つゝ

但前同斷一日銀九匁つゝ

前同斷一ヶ月金壹兩三分勤日數日割

前同斷一ヶ月金貳分勤日數日割　三十五

一ヶ年　同

一御手當金拾兩　同

外出役扶持五人扶持　出役

外國行御手當其外總而前同斷

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一御場所幷船中規則の儀は堅相守可申事

一戰死幷難船死の者は身分相應の御取扱有之候事

一軍艦役同並の者船將代りに而乘組士官の候節乘組士官の内心得違の者有之候はゝ總軍艦頭の心得を以所置いたし置歸府の上其段急度可申立尤身分に拘り候程の儀有之候はゝ歸府迄爲慎置歸府後委敷軍艦頭え可申立候事

但乘組士官の者心得違有之候も不存他の者より相知れ候樣なる不取締の義有之節は當人は勿論其船將代りの者も急度可被仰付候事

一御船々乘組の義は申上の上申渡候間會議の上に無之候而は猥に乘組替幷御免共不相成候事

一軍艦役同並は毎週日曜日總裁宅に而會議の節不殘出席可致事

一御船々品川沖淀泊當番は乘組人員半側つゝ毎週土曜日交代可致事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

但諸忌の外無據差支有之節は先側の者の内可成
丈け同等級の者相對に而居殘賴合其後返番可致
事

一軍艦役同並に而御船々船將代り重立の者上陸中は
御用の外日勤に不及候事

一同斷の者は毎週土曜日御船々乘組交代の節船中一
等士官の代り合當番可致事

一軍艦役同並乘組船將被　仰付候はゝ其日より三十

日の間に船中當番割幷諸ロル無相違取調置會議の
節差出し衆評の上相定め可申事

一御船出港入港の節は船將自分號令可致事

一軍艦役以下同並勤方三等迄教授掛の者は誓古休日
之外海軍學校え日勤の事
但稽古始り候刻限前必出勤可致事

一御船々乘組士官の内非番之者は御用取扱として日
に一人つゝ海軍所え出勤可致尤御用無之候間は其

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

段當番え申屆置學校え罷出兼學可致其他の非番之者も日々學校え罷出兼學可致事

但宅調の方益有之節は學校え不罷出とも不苦候得共宅調の廉々合帳に認置出局の節に教師え差出し可申尤假令他の學術稽古の爲宅調いたし候共海軍學校え出學候丈けの刻限は海軍術を取調可申事

一御船々乘組并教授掛り御入用掛りの外は申合兩人つゝ當番并泊番いたし其他非番の者は日々學校え罷出兼學可致事

但前同斷

一航海并品川沖碇泊とも船中御賄の義は朝汁香物晝夕香の物被下其餘菜代として一日銀七匁五分つゝ尤外國行の節は右菜代三陪被下候事

但菜代の義は海軍奉行より軍艦役並勤方三等迄同樣の事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一食器は總而自分入用たるへき事

一御場所え出勤の者えは辨當料として一度銀貳匁五分つゝ被下候事

但泊番之者え其夕翌朝二度分被下候間何れも當番之者月々取調可申事

一御船々請持の外軍艦役同並の内に而一人海軍所詰住居可致事

一總裁及海軍奉行被　仰付候節而已爲恰罷越候義は軍艦役一人同並壹人總代として罷越可申事

但海軍奉行並以下役に被仰付候共爲恰罷越に不及候事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

艦内士官並下等士官
水夫火焚小筒方心得

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

船中士官心得

一朝起太鼓の節銘々不後樣起出可申事

一朝八時太鼓笛の合圖にて御國旗を引揚候節は銃を捧け恭禮いたし其節帆桁上け可申事

一乘組士官の内一人目付役相定置可申事

一毎朝人數改の節當番士官は小頭を引誘整列の中央を通行し衆人衣服の清汚等を改め病人相糺し惣而船將次官え申聞其段船將次官より船將え可申立事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一前同斷の節當番士官は本日當番の番號幷夜中當番之番號を高聲に而讀上べし且前日有罰者幷有賞者へ夫々賞罰を與へ其後の指揮に而退散の事

一土曜日朝人數改の節は船將幷船將次官と艦内を通行し大砲等を點檢可致事

一同斷之節甲板上に整列したる衆人は船將元の位置に歸り來り候迄は列を亂さす其後船將の指揮に因而一同退散可致事

一戰列の節船將次官は目付役を引誘し艦内を通行すへし且其節懸り々々の士官等は其戰列に於て人數の充分或は不足を告く可き事

一同斷の節船將次官の見廻り終り事の模樣を逐一船將に告知いたし其後指揮に因而一同退散可致事

一日沒時太皷笛の合圖に而御國旗引卸候節朝引揚候節の通り銃を捧け帆桁を引をろし可申事

一夜九時太皷の合圖に而當番の外は銘々相休當番士

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

官船中不殘見廻り番兵揃居り候哉竈の火弁制禁の場所火氣無之哉喞筒の水何程上り候哉燈籠用意有之哉大風雨の節添錨の用意宜候哉柁の運動故障無之哉相改其段船將え相屆可申事

一船將は船中總躰の取締は勿論其外諸般の事共都而心付部屋々々臨時見廻り石炭の燥濕弁役々受持の諸具等に心を配り折々船底ノ諸貯物をも相改め可申事

一火藥弁銃丸圍場の鍵は船將預り置猥に開閉致間敷事

一船將上陸の節は船將次官必滯船可致事

一當番士官は其時間船中諸事件を司り諸號令を傳可申且右時間事件は一切日記に認置可申事

但都而號令は緊要成を以成丈大聲を發すへき事

一船中常服の儀は當御役被　仰付候日より一週の内に其等級の服整置可申事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一朝起太鼓より夜九時迄の間は船中乗組一同常服の外不相成候事

但上陸の節も本文同樣の事

一朝起候後より朝飯迄午後調練後より夕飯まて夕飯後より夜九時迄の間は當番士官の外兼學の時と相定銘々勉强可致事

但夜九時後幷晝兼學時の外も御用透有之節は不怠兼學可致事

一定たる場所の外は火氣一切差置申間敷候事

但本文場所の儀は其船に船將相定置可申且烟草の儀は船將の許し無之場所に而一切相用申間敷事

一船中破損箇所諸道具の損し又は御買入可相成品數等有之節は銘々受持の者巨細帳面に認譯柄發揮と相分り候樣いたし其時々船將次官え差出可申事

一飲食は賄役の者厚心を用ひ下輩の者たりとも不調

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

味のもの差出し申間敷事

但本文食物の儀は當番士官其節々々試み可申事

一碇泊中夕飯時の外酒相用申間敷尤航海中は當番次番の外御用透見斗相用候而茂不苦事

但日曜日は晝飯夕飯とも相用候而も不苦尤何れも一時間を過へからざる事

一日曜日の外上陸の上酒相用候儀不相成尤一泊以上の御用向に而上陸の節は船中の通夕飯時酒相用候

而茂不苦候事

一品川沖の外爲入湯乘組士官五分一以上は上陸不相成事

一上陸刻限の儀は午後四時より上陸八時迄に歸船可致尤大坂目印山沖等の如き場所え一週日以上碇泊の節は船將存寄を以刻限相定上陸爲致候儀も可有之事

但日曜日は當番次番共一役一人つゝ相殘り居り

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

朝人數改後より上陸歸船刻限同斷の事

一御船御修復等に而入湯不致候而は不相成程の儀有之節は其段船將へ申立聞濟の上上陸可致事

但歸船刻限前同斷の事

一歸船刻限前差掛り病氣の節は醫師幷目付役爲見屆可罷越間其段當番士官迄相屆可申事

一御船大御修復等に而自然船中に住居相成兼候程の節旅宿申付候共右旅宿取締向等は惣而船中同樣相

心得可申事

一運用主役の士官は水夫を差配し帆類綱具等惣而運用に關係の諸品を預り遣ひ拂等巨細帳面に仕立取調置毎月末船將次官見留印の上船將え差出可申事

一砲術主役の士官はコンスタブル、マルニールタムフールを差配し大砲小銃に關係する諸器を心附右所用の品遣拂等巨細に取調置毎月末船將次官見留印の上船將え差出可申事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一測量主役の士官は大工其外を差配し諸器類地圖繪の具類等測量に關係する諸品を心附右遣拂等巨細に取調置毎月末船將次官の者見留印の上船將え差出し可申事

一蒸氣方主役の士官は火焚鍛冶を差配し機械に關係する諸器を心附蒸氣室に關係する諸品遣拂等巨細に取調置毎月末船將次官見留印の上船將え差出し可申事

一醫師の儀は看病人等を差配し醫術諸道具を能々心附藥種は勿論卷木綿等に至迄惣而治療に關係いたし候諸品遣拂等巨細に認置毎月末船將次官見留印の上船將え差出可申事

一勘定役の儀は賄役幷煮燒人を差配し飲食其外日用諸品を司り惣而遣拂等巨細に取調帳面に認置毎月末船將次官見留印の上船將え差出可申事

一同斷の者は船將見留濟の總括勘定幷水夫火焚給料

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

其外諸勘定仕上け毎月五日迄に前月の分船將え差出可申事

一同斷の者は士官品川沖御手當筋等毎週土曜日迄に取調置當番明け之者え相渡可申事

一同斷の者は下等士官以下給料渡方の儀は航海幷品川沖碇泊中共毎月晦日に其月の分目付役立合の上銘々え相渡可申事

但航海御手當の儀は毎月土曜日に相渡し可申尤

歸船日限凡相分り候節は右日限内場に相渡可申事

一士官幷下等士官水夫火焚其外御國地航海の節江戸表に而御手當等操替渡の儀は江戸より長崎迄夫より北海越前國敦賀迄は經度一度に付二日分宛越前國敦賀より陸奥國箱館迄夫より東海江戸迄は緯度一度に付二日分つゝの外御手當操替渡の儀不相成候事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

但御國地の内其他は本文に準し江戸内海の分は
歸府後御手當相渡可申事

一前同斷の者外國行の節江戸表に而御手當等操替渡
の儀は上海幷ホンコン迄は日數四十日分夫よりイ
ンド地方は惣而九十日分「アフリカ」「ヨーロッパ」「アメ
リカ」「アウスタラリー」は六ケ月分宛の外御手當等操
替渡の儀不相成候事

一前同斷の者浦賀横濱等え御修復に而罷越候節江戸

表に而操替渡御手當の儀は惣而一週の間相渡一週
より内に而出來候程の輕き御修復の節は右見込日
數丈け操替其餘操替渡御手當等の儀は不相成候事

一前同斷の者航海御手當等船中操替渡の儀は毎週土
曜日に相渡可申尤歸船日限凡相分り候節は右日限
より内場に相渡可申事

但浦賀横須賀横濱等え御修復等に而罷越候節も
本文同斷の事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一前同斷の者航海御手當等請取過の分は歸船後一週日の内無相違返納可致事

一水夫火焚共御國内航海御用先に而病死いたし候者は埋葬入用として金三兩迄は航海御入用の内を以仕拂不苦候事

船中下等士官水夫火焚小筒方心得

船中日課の儀別紙日課表の通相守り可申事

一船中晝夜當番幷諸「ロル」役割の儀其船乘組船將及ひ一等士官に而人數割取調會議の節一同評決の上相定候間堅相守可申事

一毎朝起太鼓の節は士官より不遲樣一同起出可申事

一下等士官始一同船中に於而左舷右舷と二ヶ側に相分り候間銘々左右の心得違等無之樣可致事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一朝起太鼓より夜九時までの間は常服の外不相成候事

但上陸の節も本文同斷の事

一船中酒の儀は用ひ時相定甲板上に而被下候間勝手に相用候儀は不相成候事

但下等士官えは酒御渡相成候間用ひ時の儀は士官同樣相心得可申事

一日曜日は朝人數改の後下等士官以下乘組惣人數半

側宛上陸入湯遊歩勝手次第尤午後第八時迄に無相違歸船可致事

一御船御修復等に而入湯不致候而は不相成程の儀有之候節は士官一人幷小頭一人附添に而上陸可致事

一歸船刻限前差掛り病氣の節は醫師幷目附役爲見屆可罷越間速に其段當番士官迄相屆可申事

一御船大御修復等に而自然船中に住ひ相成兼候程の節旅宿申付候共右旅宿取締向等は惣而船中同樣相

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

心得可申事

一水夫小頭肝煎小頭同並は帆綱具帆桁等惣而見苦しからさる樣精々心附可申事

一火焚小頭肝煎小頭同並は蒸氣室中の儀惣而心付機械方の差圖に隨ひ磨方等能々行屆候樣可致事

一火焚は機械磨方の節油麻等麁末に不相成樣いたし且麻屑船下え落不申樣急度心得可申事

一毎夜助救船の用意等相心得其他非常の儀有之節は

速に起出當番士官の差圖に隨ひ可申事

一晝夜共當番水夫は番兵同樣御船内外を能々心附非常の儀有之節又は怪敷船漕來り候節は速に當番士官え屆可申事

一夜中甲板下當番水夫は時々船中見廻り火の元能々心附可申事

但定めの場所に有之候燈籠消かゝり居候はゝ相直し可申事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一夜中甲板上當番水夫の儀は當番士官え取次可申事
件有之番兵の者呼候節は速に其者の持場所え來り
可申事

番兵の心得

一番兵の者は御船の内外を能々心附非常の儀有之節
は速に當番士官え屆可申且御船え乘附候船有之候
共當番士官承り屆の上に無之候は而は乘船致させ
申間敷候事

一乘組船將幷士官又は他の船將士官等來り候節は其
船漕付さる前に其段當番士官え相屆恭禮の心得可
有之事

但各國船將士官本文同斷の事

一番兵の者は人數改の節茂其場所を立去り申間敷事
一番兵の者は別而見苦しからさる衣服を着し小銃幷
「タス」等奇麗にいたし麁忽無之樣相心得且御用の外
は他の者と咄し等致す間敷事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一番兵の近邊に而不行跡の者是あらは是を可咎事
一番兵は如何樣の事有之候共其場所を立去り申間敷事
一番兵の者は銘々の守場所え無用の人を寄附申間敷事
一大檣の元より艫の方え士官の外無用の者立入候はゝ是を咎可申事
一無用の小舟は楷子下に附置べからす尤用事有之候

共暫時ならては附置申間敷事
一右舷楷子下には士官以上乘組候船の外爲附申間敷且乘組士官幷他船の士官來り候節は右舷番兵海軍恭禮を行ふへき事
一「ハック」上には休時の外水夫等來るを不許且衣類等干さしむへからさる事
一夜中當番の者は別而御船の内外を能々心附非常の義有之歟又は怪敷船等近邊に乘來り候はゝ速に當

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

番士官え屆可申事

一何時に不限夜中は御船え乗附候船有之候共御船乗組人員の外は當番士官え屆同人應接の上に無之候は而は乗組爲致間敷事

但乗組人員の内に候共楷子引上け候後は當番士官え屆さる前上船爲致間敷且當番士官え訴候節は甲板上夜中當番の水夫を呼其者を以爲屆其身は其場所を守り可罷在事

軍艦役以下役々心得方大概

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

軍艦役同並同勤方醫師勘定役飜譯方繪圖認方幷
陪臣より出役之者心得左之通申渡候

一他局より當局え可被　仰付役々は惣而吟味無之候
は而は不相成尤吟味の上夫々至當之等級可被　仰
付候事

但醫師の儀は當分醫學所に而吟味之上可被　仰
付候事

一海軍諸規則の內時世の移變開化に從ひ不都合の廉

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

出來候節は會議之上海軍總裁の評決を待て可改革事

一軍艦役並勤方醫師勘定役飜譯方繪圖方共都て建白致し度事件有之節は毎週日曜日會議の節封書を以差出し可申事

但軍艦役並勤方醫師飜譯方繪圖方は軍艦役え差出し勘定役は組頭え差出し可申事

一軍艦役同並同勤方醫師勘定役飜譯方繪圖方共御場

所宛寄出火幷非常の節はそぎ袖羽織細袴着用早々出局可致事

一前同斷の者出局刻限の儀は四月朔日より八月晦日迄は朝九時に出勤午後四時退散九月朔日より三月晦日迄は朝十時出勤午後三時半退散の事

一前同斷の者無斷不參致し候儀は不相成候病氣等に而難罷出候節は日數七日迄は賴合七日以上御奉公相斷候程の儀に候はゝ海軍所附醫師に診察爲致醫

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

案を病氣引の斷書え相添差出可申事

但治療の儀は銘々望の醫師に爲致不苦候事

七十六

賴合狀振大凡左の通

以手紙致啓上候然は私儀今幾日海軍所ェ出勤可仕の處何々に付難罷出候自然御用之儀等御座候はゝ可然御取計可被下候右の段相願度如斯御座候以上

月　日

右は何れも海軍所當番宛に而差出し可申事

七日以上引込斷狀大凡左の通

何の誰

引込御屆

私儀去る幾日より病氣に付賴合罷在候處（何々同篇歟）に而出勤難仕候依之御場所附醫師何の誰醫案相添當分御斷申上候以上

何の誰

月　日

右は何れも軍艦頭え差出し可申事

七十七

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一前同斷の者當分斷は日數三十日を限右より以上は
神文狀軍艦頭宅え差出可申事

神文狀振合大凡左の通

一筆啓上仕候然者私儀何々病氣に付去る幾日より當分御斷申上引込罷在候處于今同篇に而急速出勤難仕候右は日本の神僞に而は無御座候恐惶謹言

月　日　　何之誰　書判

軍艦頭宛

一前同斷之者神文狀差出六ヶ月相立候而も出勤難相成節は病躰見屆として軍艦役幷御場所附醫師差添罷越し篤と相糺し其品に寄御役御免願書可爲差出候事

一前同斷の者當分斷狀差出し引籠罷在候者定の日數内に而出勤致し候節は出勤之上軍艦頭え直に相屆可申尤軍艦頭回局無之節は出勤屆書

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

御殿ゑ差出し可申候事

届書振合大凡左の通

出勤御届

何之誰

私儀病氣に付當分御斷申上置候處今幾日より出勤仕候依之此段御届申上候以上

月　日

一前同斷の者神文狀に而引籠罷在候者六ヶ月内に而出勤致し候節は爲届出勤の當朝宛寄軍艦頭宅ゑ罷越可申候届無之出勤之儀は不相成候事

但明日より出勤可仕旨其前日海軍所當番迄手紙差越可申事

手札振合

病氣に付神文狀を以御斷申上置候處今幾日出勤仕候

何之誰

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一前同斷之者看病斷之儀は日數十日兩親妻惣領は相立候其外は譯に寄無餘儀次第に候はゝ斷狀相立候事

但御規定の通次三男厄介の者は看病斷の儀は不相立候事

一前同斷の者居宅類燒の節は日數三十日半類燒は日數十五日斷相立候事

一前同斷の者御役被　仰付候節は當日御老中方若年

寄衆海軍總裁海軍奉行不殘御禮勤致し被　仰付候日より三日之內在府海軍奉行並軍艦奉行軍艦頭同並宅え罷越在勤之方えは禮狀差出し可申事

但席以下の者又は陪臣等より出役の向は御老若方海軍總裁海軍奉行え回勤不及在府海軍奉行並軍艦奉行軍艦頭同並宅え罷越可申尤在勤御用先に而被　仰付候節は乘組船將え御禮可申上事

一軍艦役並以下格式操上被　仰付候節茂御禮勤都而

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

前同斷の事

但前同斷

一軍艦役並以下の者等級操上被　仰付候節は御禮勤の儀海軍總裁海軍奉行幷在府海軍奉行並軍艦奉行軍艦頭同並宅え罷越可申候事

但前同斷

一軍艦役同並勤方同出役醫師勘定役繪圖方等被　仰付候はゝ其當日より三日の內に明細短冊三枚宛軍

艦頭え差出し先祖書由緒書親遠類書は一ヶ月の內に取調半紙え認二通前同樣差出し可申事

但先祖書由緒書親遠類書は相替り候廉有之候はゝ認直し置每年暮に差出し可申候尤出役の向は先祖書等差出候に不及候事

一前同斷の者格式或は身分相替り候節又は御宛行御扶持方等相替り候はゝ其日より三日の內に明細短冊三枚爲引替軍艦頭え無相違差出可申候事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一前同斷の者は身改名肩書宿所等相違致し候はゝ其都度々々其段書付に致し三日の内軍艦頭え無相違差出し可申候事

一前同斷の者出役の外拜領屋敷無之者は元の身分に而見立願相濟候歟未見立願相濟不申歟有無共其譯認め御役被　仰付候日より十日の内に書付に致し軍艦頭え差出し可申候事

一同斷見立相濟候後願の場所屋敷被下候旨被　仰渡

候節は御禮として被　仰渡の御老若方總裁衆海軍奉行え回勤致し三日の内に在府海軍奉行並軍艦奉行軍艦頭同並宅え罷越可申候事

一前同斷の者御用召に而御席え罷出候者の儀軍艦頭より剪紙に而申達候はゝ不取敢承知致し無相違罷出候段調印の請書差出し可申候事

但忌中病氣に候はゝ其段可申越候當朝に至り差掛り候病氣の節は

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

御城え申越候歟御用の品に寄名代差出可申候事

一前同斷の者御暇拜領物御褒美等御席に而被下候程の節は御老若方幷海軍總裁海軍奉行え當日不殘御禮回勤致し三日の内在府海軍奉行並軍艦奉行軍艦頭同並宅え罷越可申候事

但軍艦頭申渡候御褒美の分は御禮回勤の儀被仰渡の御老若方總裁衆海軍奉行同並軍艦奉行軍艦頭同並宅え罷越可申候事

一軍艦役同並同勤方醫師勘定役飜譯方繪圖方共春夏御借米冬御切米高に附候御扶持方御役扶持並陪臣出役扶持手形共翌月の分前月十日迄に不殘取揃十五日迄に軍艦頭調印として

御殿え差出し候樣取計可申候事

但十二月は五日迄に取揃七日迄に

御殿え差出し可申且御用に而在勤之向は互の事に候間同役の内留守預り之者相賴右名面差出置

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

留守中手形類其外物而右の者取扱候樣可致候事

一忌服幷產穢等相成候節は即日屆書海軍所當番へ差出候樣可致候事

一右同斷の節御場所限出勤日限左の通相心得可申候事

忌五十日者	三十五日	
忌三十日者	十一日	
忌二十日者	七日	
忌十日者	四日	
忌五日者	二日	
忌三日者	一日	
產穢七日者	三日	

此日數相立候はゝ御場所限出勤致し可申事

御城へ罷出候儀は定式の日數不相立候而罷出候儀は不相成候

明細短冊認振雛形左之通

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

軍艦役以下當主之者明細短冊

料紙美濃紙竪四ッ切

實祖父何之誰何役歟相勤罷在歟相勤候歟

實父何之誰同斷

養祖父何之誰同斷

養父何之誰同斷

軍艦役歟

同並歟

何格

同並勤方何等歟

醫師歟

勘定役歟

飜譯方歟

繪圖認方歟

紋所何

高何百何拾俵何人扶持本國何生國何　何之誰支何歳

内何俵何人扶持何俵何人扶持　本高御足　拜領屋敷何所歟當時宿所何所歟借地歟

等級扶持　何人扶持

何年何月幾日何々被　仰付何年何月幾日何々被

仰付候

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

料紙右同斷

實祖父何之誰何役歟相勤罷在
候歟相勤申候歟實父何之誰同
斷
養祖父何之誰同斷
養父何之誰同斷
何之誰支配歟組歟
何役
父誰惣領歟次三男歟
兄誰弟歟
何格
軍艦役並勤方何等歟
醫師歟

紋所何歟
父歟
兄歟
何歟
高何俵歟何石歟
內何俵
何俵
本高
御足高

外御役料歟

高何俵歟何人扶持歟本國何生國何
等級扶持何人扶持

勘定役歟
飜譯方歟
繪圖認方歟

何之誰
支何歳

何年何月幾日何々被　仰付何年何月幾日何役被
仰付候

拜領屋敷何所父一所
歟兄一所歟何一所歟
當時宿所何所歟借地
歟同居歟

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

料紙右同斷

實祖父何之誰何歟相勤罷在候歟

實父何之誰同斷

養祖父何之誰同斷

養父何之誰同斷

何之誰家來

何出役歟

紋所何歟

出役扶持何人扶持本國何生國何

何之誰

別段御手當金何兩歟

支何歳

宿所何所町何之誰上中下屋

敷内歟

何年何月幾日何出役被仰付候

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

水夫火焚之規則

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

水夫火焚御給料其外以來左之通取極め可申事

壹ヶ年金三拾四兩　　水主同心格

一一日米壹升宛　　水夫小頭肝煎

御扶持方貳人扶持

外

外國航海の節一日金壹分貳朱つゝ

御國地航海の節一日金壹朱つゝ

航海幷品川沖碇泊とも朝汁香の物晝夕香のもの

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

にて御賄被下酒代藥代として一日銀三匁七分五厘つゝ尤外國航海の節は右三倍被下候事
但右三匁七分五厘を目當に致し賄役に而取扱餘り候節は水夫え割付被下候事

一壹ヶ年金三拾四兩　水夫小頭
一日米壹升宛
外
前同斷
前同斷

前同斷
一壹ヶ年金三拾壹兩　水夫小頭並
一日米壹升宛
外
前同斷
前同斷
前同斷
一壹ヶ年金貳拾八兩　一等水夫
外

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

外國航海一日金壹分宛
前同斷
前同斷
一壹ヶ年金貳拾五兩　二等水夫
外
前同斷
前同斷
前同斷

一壹ヶ年金貳拾貳兩　三等水夫
外
前同斷
前同斷
前同斷
一壹ヶ年金拾九兩　四等水夫
外
前同斷

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

前同斷
前同斷
一壹ヶ年金拾六兩　外　五等水夫　百四
前同斷
前同斷
前同斷
一壹ヶ年金拾三兩貳拾歲以下拾八歲迄　水夫見習一等

外
外國航海一日金貳朱つゝ
前同斷
前同斷
一壹ヶ年金拾兩拾八歲以下拾六歲迄　外　同　二等　百五
前同斷
前同斷

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

前同斷

一壹ヶ年金七兩拾六歲以下拾四歲迄　同　三等

外

前同斷

前同斷

前同斷

壹ヶ年金三拾七兩　水主同心格

一一日米壹升宛　火焚小頭肝煎

御扶持方貳人扶持

外

外國航海一日金壹分貳朱つゝ

前同斷

前同斷

一壹ヶ年金三拾七兩

一日米壹升宛　火焚小頭

外

前同斷

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

前同斷
前同斷
一壹ヶ年金三拾四兩
一日米壹升宛
外
前同斷
前同斷
前同斷
一壹ヶ年金三拾壹兩

火焚小頭並

一等火焚

外
外國航海一日金一分つゝ
前同斷
前同斷
一壹ヶ年金貳拾八兩
外
前同斷
前同斷

二等火焚

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

前同断
一壹ヶ年金貳拾五兩
外
前同断
前同断
前同断
一壹ヶ年金貳拾貳兩
外

三等火焚

四等火焚

前同断
前同断
前同断
一壹ヶ年金拾九兩
外
前同断
前同断
前同断

五等火焚

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一壹ヶ年金拾六兩貳拾歲以下拾八歲迄　火焚見習一等　百十二

外

外國航海一日金貳朱つゝ

前同斷

前同斷

一壹ヶ年金拾三兩拾八歲以下拾六歲迄　同　二等

外

前同斷

前同斷

一壹ヶ年金拾兩拾六歲以下拾四歲迄　同　三等

外

前同斷

前同斷

前同斷

一軍艦え抱入相成候上は攻擊防禦可致は勿論の事に　百十三

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

付戰爭の時に臨み彼是苦情申立候義不相成候尤萬一戰死或は難船死等致し候者は其父母妻え御扶助米被下置且拾五歳以下の子供有之者えは其子拾五歳迄御扶助米被下候事

但跡取の外父母御扶助米は不被下候事

一艦内規則の義は御船々に而可申渡候間堅相守り可申事

一怪我又は老衰に而船中の働相成兼候程の者は外相

應の業前を以一日米壹升宛弁取來り候御給料而已被下生涯御遣ひに相成尤當人望に候はゝ永の暇可遣候事

但差たる怪我に無之者は其時の輕重により御手當被下候事

一怪我に而船中の働相成兼候者外勤向申付候共業前に寄等級操上げは相成候事

一病死いたし候節は埋葬料として烏目拾貫文被下候

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

事

一七ヶ年出精相勤候者は八ヶ年目より等級給料の外別段爲御手當壹ヶ年金貳兩壹分拾三ヶ年出精相勤候者は拾四ヶ年目より同斷金四兩貳分二拾ヶ年無滯相勤候者は貳拾一ヶ年目より同斷金六兩三歩宛年々被下候事

但船中之働相成兼外勤向申付候節は不被下候事

一水夫火焚とも抱入相成候月は目見の日より日割を

以給料其外共被下候事

但御船え乗組候迄は御賄は不被下候事

一水夫火焚小頭肝煎以下見習三等迄給料の内壹ヶ年金三兩壹分宛海軍所え預置暇の節相渡可申事

但水夫火焚差配御用達より抱入相成候者は壹人に付壹ヶ月銀壹匁九分つゝ之判錢本文預り金の内より月々引去り右御用達え相渡候事

一筒袖胴服股引は夏冬二た通りつゝ冠もの履桐油は

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

壹ヶ年兩度つゝ雨笠皮帶小刀は壹ヶ年壹度つゝ御渡の積を以惣而代料に而可相渡候得共右は銘々勝手に注文いたし相用候而は形狀品柄等相揃不申御不躰裁に付惣而海軍所に有之御貯の分願受可致事

但本文代料の儀は海軍所え預り置御貯之品々相渡候都度々々古代料を差引正月より六月迄の分は七月に至り七月より十二月迄の分は十二月に至り殘り金有之候はゝ相渡可申若又手置不宜度

々諸品願受いたし本文總躰の代料に而引足不申候節は右代料給金の内に而差引可申事

一釣り床フラケット枕は隔年に壹度御渡し相成候事

但釣り床洗濯の節は御貯の内一晝夜御貸渡しの事

一右渡し物の内紛失爲致又は手置悪しく損し候儘相用候者えは御貯の内より新規の分相渡し右代金の儀は給金の内より引去り可申事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一食器は壹ヶ年壹人に付代料に而金壹分つゝ被下其
餘損し候節は總而自分入用の事
一水夫火焚共病人を除き御用幷休日の外は猥に上陸
不相成候事
一小頭肝煎小頭幷小頭並は二ヶ側に分れ乘組士官交
代の節交代いたし陸番之者は一人つゝ海軍所え相
詰可申事
但陸番之節御賄は不被下菜代而已被下候事

一水夫火焚とも御用に而上陸の内は船中通り御賄幷
菜代被下候事
一前同斷の者品川沖碇泊之節休日の儀は日曜日木曜
日總人數半側つゝ上陸可致尤他港は都て日曜日而
已半側つゝ上陸可致事
但品川沖碇泊中は朝八時半より翌朝八時迄他港
は何れも朝人數改後より夜八時迄を限り歸船可
致尤品川沖の外入港の節而已時宜に寄休日に無

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

之候而茂上陸差免し候義も可有之且大坂目標山沖等の如き場所え一週日以上碇泊相成候節は船將存寄に而刻限等相定め上陸爲致候義も可有之事

一品川沖幷他港碇泊中とも休日之外無餘儀私用に而上陸相願候者は其日數中給料菜代其外惣而不被下候事

一船中に而療養難相成程の病人は病院に而治療爲致

藥料は勿論惣而御賄被下候間給料菜代其外共一式不被下候事

一病人勝手に而病院に不入療治致し候者えは藥料は勿論給料其外惣而不被下候事

一兩親病氣に而暫時看病相願候節は鹽飽島之者は大坂町奉行よりの書狀伊豆島々之者は江川太郎左衞門よりの書狀其他は水夫火焚差配御用達よりの願書差出し不申候而は不相叶候事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

一兩親病氣に而看病願相濟候者暇日數の儀道中往返里數一日十里詰看病日數廿日之間は給料而已半減の日割を以被下其餘は都而不被下候事

但本文半減の給料は歸着之上相渡可申事

一聞濟日數の外三ヶ月相立候而茂歸着無之者は永の暇申渡預り金の儀は鹽飽島は大坂町奉行より伊豆國島々は江川太郎左衞門より書狀を以申越其他は水夫火焚差配御用達より願出候上相渡可申事

但歸着の上相渡半減給料は不被下候事

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50

国立国会図書館　赤松則良関係文書 50